

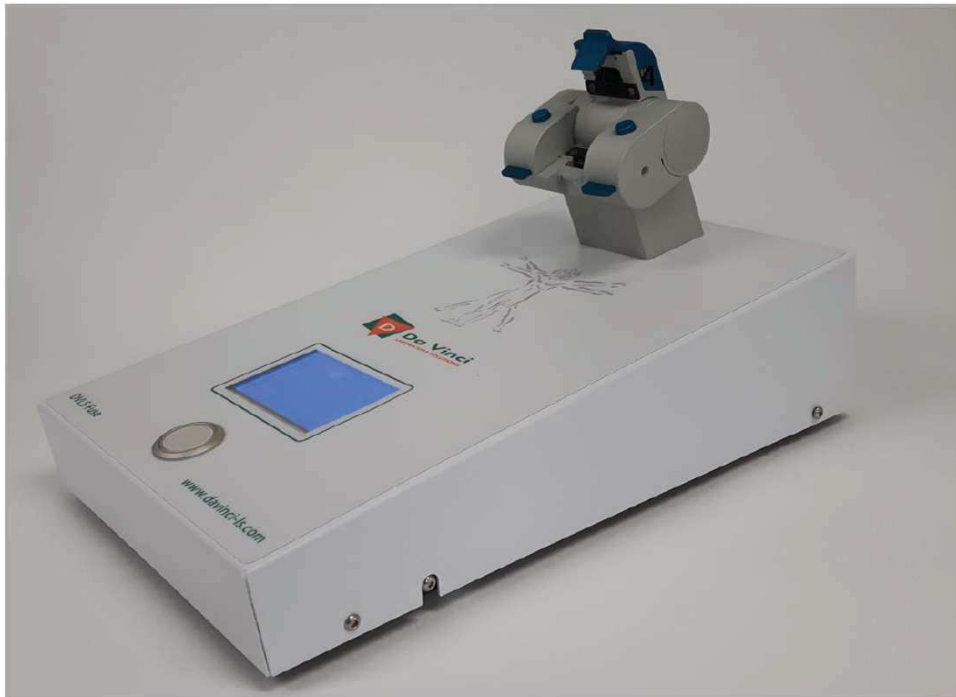
次世代型DVLSヒューズツール キャピラリカラム高速自動コネクター

キャピラリカラムを接続するには、いくつかの方法があります。

まず手作業による方法ですが時間のかかる作業であり、金属コネクターの場合は、オープン温度の昇温の繰り返しにより、ゆるみが生じ、カラムの劣化が起こる可能性があります。

ガラスコネクターの取り付けは簡単ですが、接続は確実ではありません。

Da Vinci Laboratory Solutions(DVLS)は、キャピラリカラムを自動的に、スピーディーかつ安定した接続を実現するために、よりコンパクトな次世代型DVLSヒューズツールを提供します。



よりコンパクトな次世代型DVLSヒューズツール

5ステップによるシームレス接続

DVLSヒューズツールは、カラムを3分以内で自動的にかつ完全に密閉します。これによりユーザーは大幅に時間を節約でき、更に重要となる信頼性の高い分析結果を得ることが可能です。

5つの簡単な手順でDVLSのヒューズツールは、不活性化されたチューブを使用し、2本のキャピラリカラムを自動的に安定した接続を確立します。

4つの小さなヒートスポットが、チューブ内のカラムを固定して、シームレス接続を確立します。

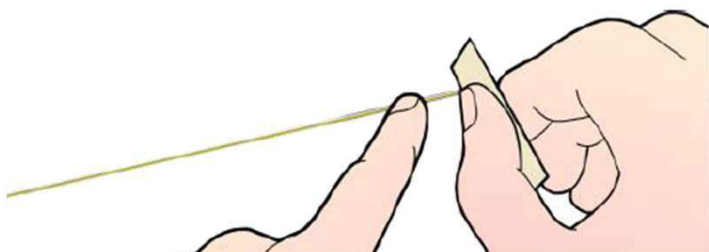
5ステップによるシームレス接続

ステップ1 – キットを設置する



DVLSヒューズツールキットは、電池でも使用可能なので、ベンチの上やGCオープンの内でも簡単に作業できます。電源をオン（#2）にし、3つのカバー（#3、5、8）を持ち上げます。

ステップ2 – カラムを準備する



接続前に2本のカラムの先端部分をまっすぐにカットしてください。

ステップ3 – プロセスを開始する

タッチスクリーンで希望のチューブタイプを選択します。（#7）

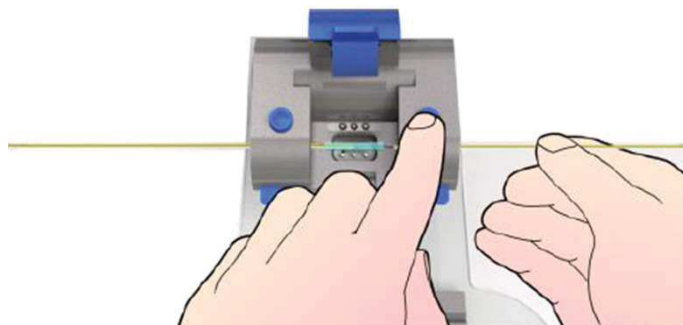
- ・ 0.53 – ID 0.53~0.32mmのカラムをつなぐ場合。
- ・ 0.32 – ID 0.32~0.25mmのカラムをつなぐ場合。
- ・ 0.25 – ID 0.25mmと0.25 mm以下のカラムをつなぐ場合。

プロセスチャンバーの開口部にチューブを置きます。

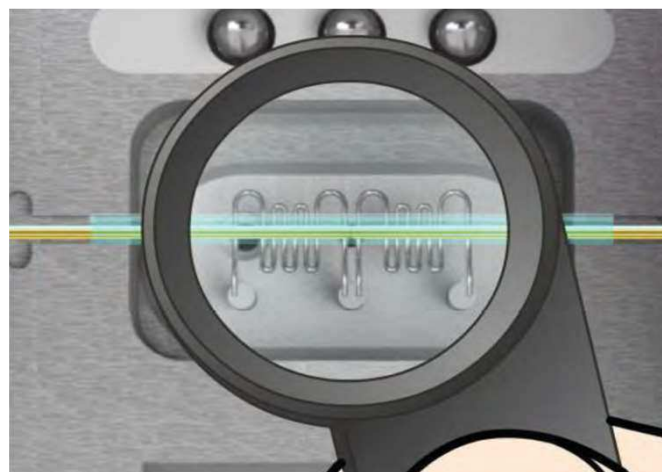


DVLSヒューズ接続

ステップ4 – カラムの位置



カラムの部分で使用する小さな光(#9)は、ツールキットの下にあります。この光は、ヒューズツールの中間とカラムの端となる正しい位置を示します。



カラムの先端がチューブ内の正しい位置にあるか確認をする為に、拡大鏡を使用します。接続時間は、わずか60秒です。

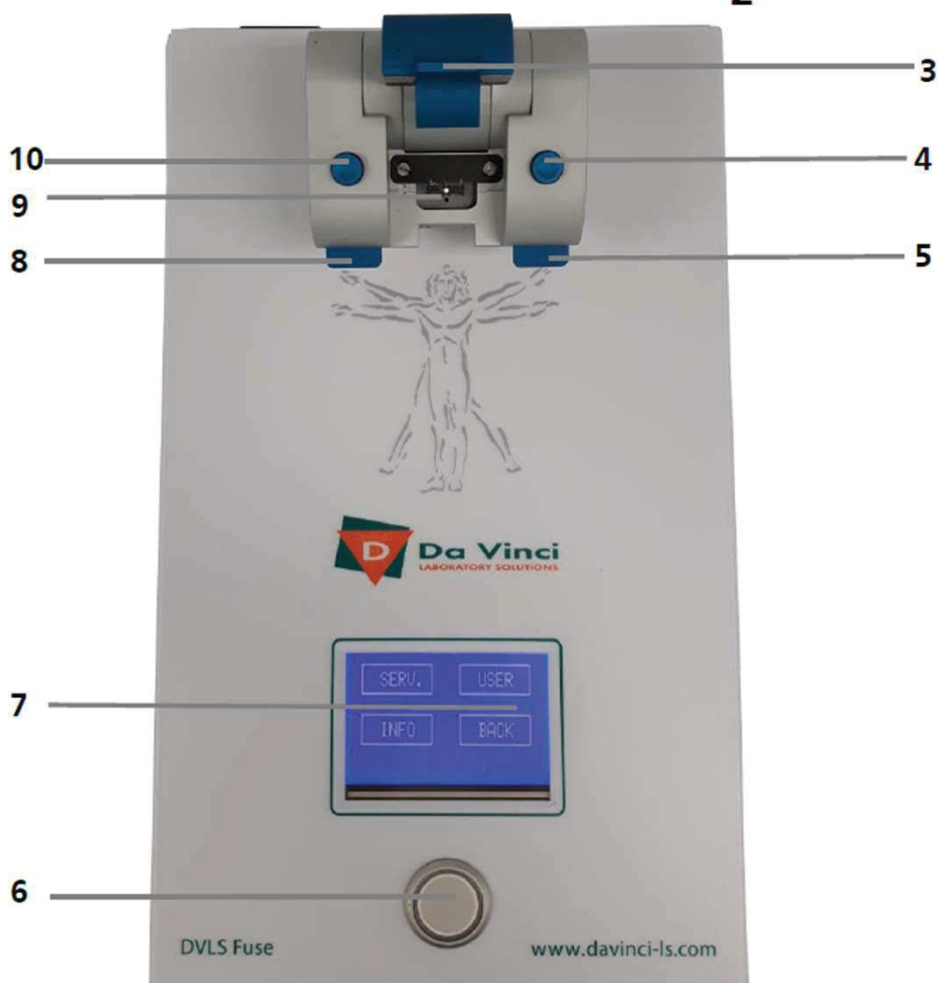
ステップ5 – 接続を確認する

プロセスチャンバー(#3)のカバーを開け、拡大鏡で接続の確認を行います。ヒューズツールの正しい接続は以下のとおりです。

- ・ 二つの透き通った窪みやノッチがあること
- ・ カラムの周辺は挿入の深さが均一に配置されていること
- ・ カラム端部の隙間は1mm以下であること
- ・ 2本のカラムは直線状に接続されていること。
- ・ 2本のカラムの先端部がチューブの中央で合っていること。

次世代型DVLSヒューズツールキット

1. 電源コネクター
2. 電源 ON/OFF
3. プロセスチャンバーのカバー
4. 右側のカラムホルダーのリリースボタン
5. 右側のカラムホルダーのカバー
6. エンターボタン
7. プロセス画面（タッチスクリーン）
8. 左側カラムホルダーのカバー
9. ポジショニングライト
10. 左側カラムホルダーのリリースボタン



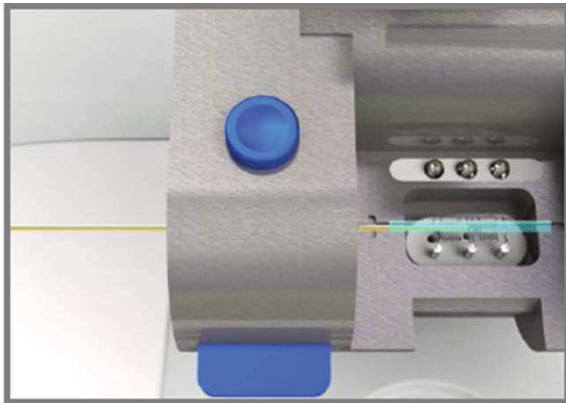
次世代型DVLSヒューズツール キャピラリカラム高速自動コネクター

ガラスチューブコネクション

ヒューズツールの接続を確立するために、特殊なガラスチューブが開発されています。ガラス材は化学的に不活性となっています。

DVLSヒューズツールコネクションは、特殊チューブを溶かすことにより、行われます。

結果として、小さなガラスチューブの中に溶けて入り込み、隙間を埋めます。漏れの心配もありません。



チューブは、多様なアプリケーションに使用することができます。例えば、分析カラムを保護するためのプレカラム接続、分析カラムとリテンションギャップの接続、極性の違うカラムの接続（GCxGCや重複ピークの分離）などがあります。

したがって、チューブはプレスフィットコネクターや金属コネクターに代わる優れた代替品として使用することが可能です。



チューブは10個のパッケージで販売されており、3種類のチューブを選択できます：

- 0.53- ID 0.53~0.32 mmのカラムをつなぐ場合。
- 0.32- ID 0.32~0.25mmのカラムをつなぐ場合。
- 0.25- ID 0.25mmと0.25 mm以下のカラムをつなぐ場合。

ヒューズツールの主な利点

- **漏れ防止と安定した接続**：DVLSヒューズツールは、金属コネクターの気密性とガラスコネクターの安定性を兼ね備えています。
- **様々な内径**：DVLSヒューズツールを使用して、内径0.53 / 0.32 / 0.25 / 0.1 mmのカラムを接続することができます。ヒューズツールは、サイズの異なる二つのカラムを接続することも可能です。
- **テスト済みのパフォーマンス**：DVLSヒューズツールは、最大11パターンテストをしており、ピークブロードや漏れは見られません。
- **分かりやすい操作方法**：五つの簡単なステップで、不活性化されたチューブを使用して、2本のキャピラリカラムの自動的に安定した接続を確立します。



お問い合わせ、カタログをご希望の方はアキュメンテック株式会社へご連絡ください。



日本総代理店 アキュメンテック株式会社
〒273-0134 千葉県鎌ヶ谷市西佐津間1-12-2
T : 047-769-4500
F : 047-419-3029
E : info@acumentech.co.jp

DA VINCI LABORATORY SOLUTIONS B.V.
P.O. Box 12103, 3004 GC Rotterdam - The Netherlands
T: +31 (0)10 258 1870 - F: +31 (0)10 258 1879 - E-mail: solutions@davinci-ls.com
www.davinci-ls.com